

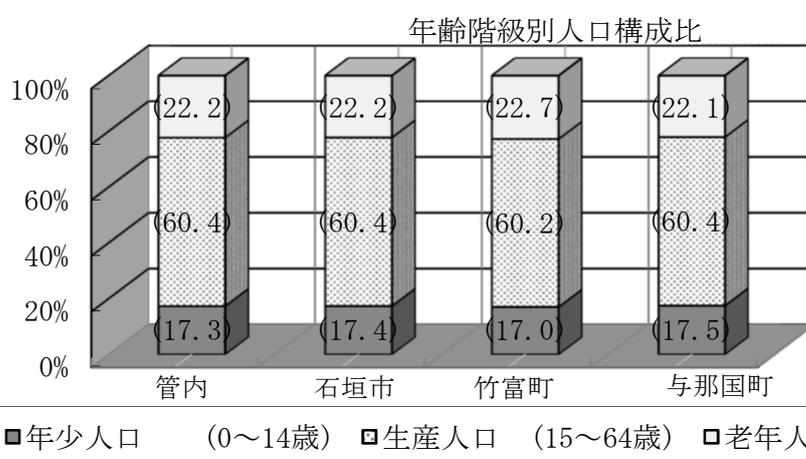
1 管内及び沖縄県の人口
(1) 世帯数および人口

(令和2年9月30日現在)

	世帯数	人 口			年齢階級別人口		
		総数	男	女	年少人口 (0～14歳)	生産人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
管 内	28,074	54,994	27,757 (50.5)	27,237 (49.5)	9,537 (17.3)	33,223 (60.4)	12,234 (22.2)
石垣市	24,664	48,986	24,608 (50.2)	24,378 (49.8)	8,505 (17.4)	29,601 (60.4)	10,880 (22.2)
竹富町	2,464	4,312	2,224 (51.6)	2,088 (48.4)	735 (17.0)	2,597 (60.2)	980 (22.7)
与那国町	946	1,696	925 (54.5)	771 (45.5)	297 (17.5)	1,025 (60.4)	374 (22.1)

出典：八重山管内世帯数・人口、「住民基本台帳」(各市町)より

※ 下段は構成比 (単位：%)



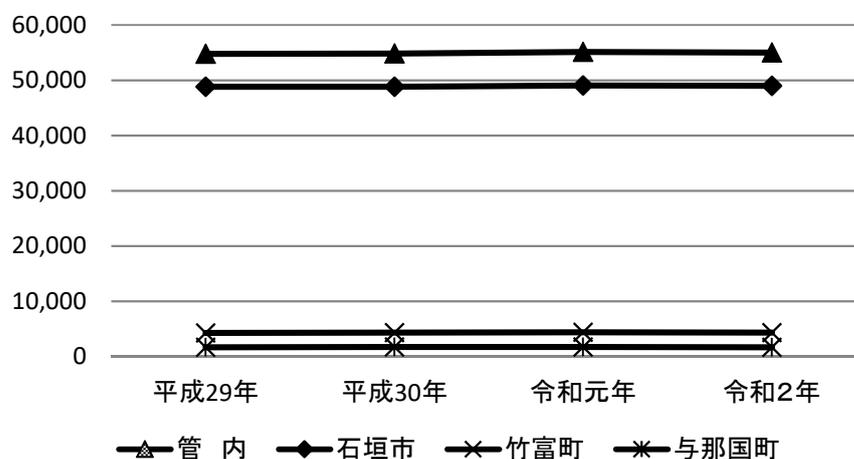
八重山管内3市町の老年人口の割合が22%を超えており、年々高齢化が進行して、超高齢化社会になっている。

(2) 人口の年次推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
沖縄県	1,443,802	1,448,101	1,454,184	1,458,839
管 内	54,765	54,847	55,136	54,994
石垣市	48,826	48,836	49,054	48,986
竹富町	4,256	4,305	4,368	4,312
与那国町	1,683	1,706	1,714	1,696

出典：沖縄県人口、「沖縄の統計(令和2年10月1日)」(沖縄県統計資料WEB)より。

管内人口、「住民基本台帳データ(令和2年9月30日)」(各市町)より。

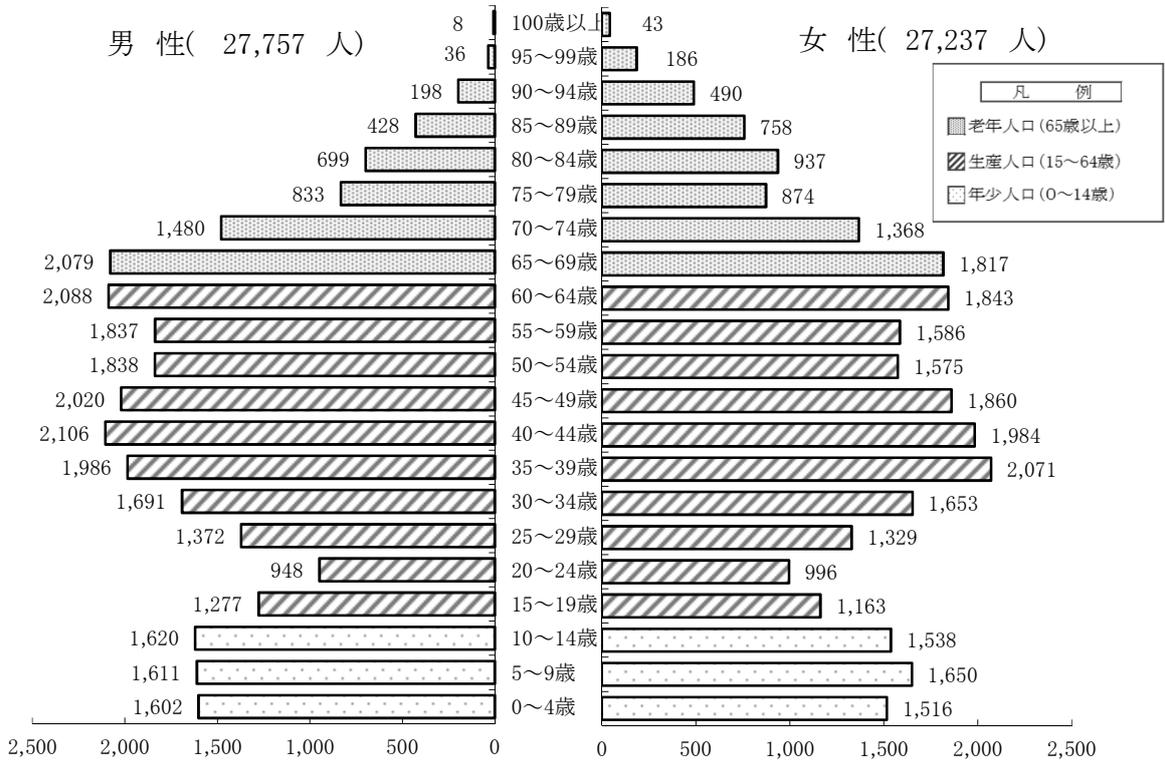


沖縄県の総人口は年々増加しており、管内の市町においては、横ばい状況が続いている

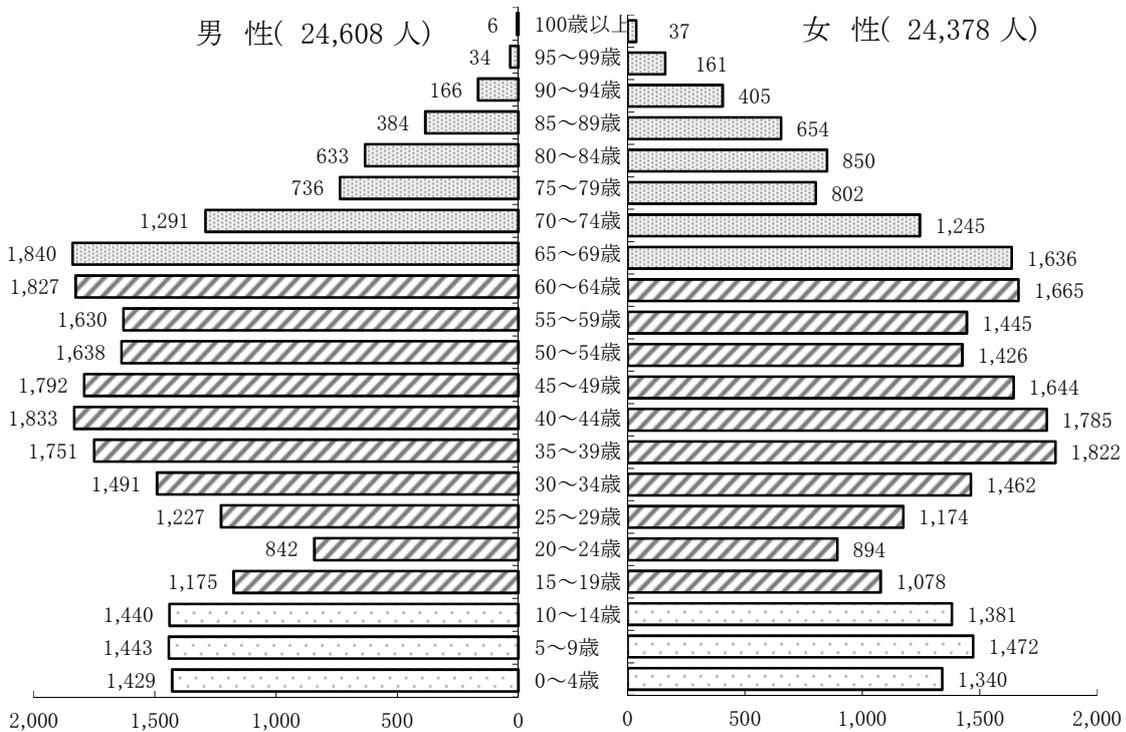
出典：上表と同じ。

(3) 年齢階級別人口構成 (令和2年9月末現在)

ア 八重山管内

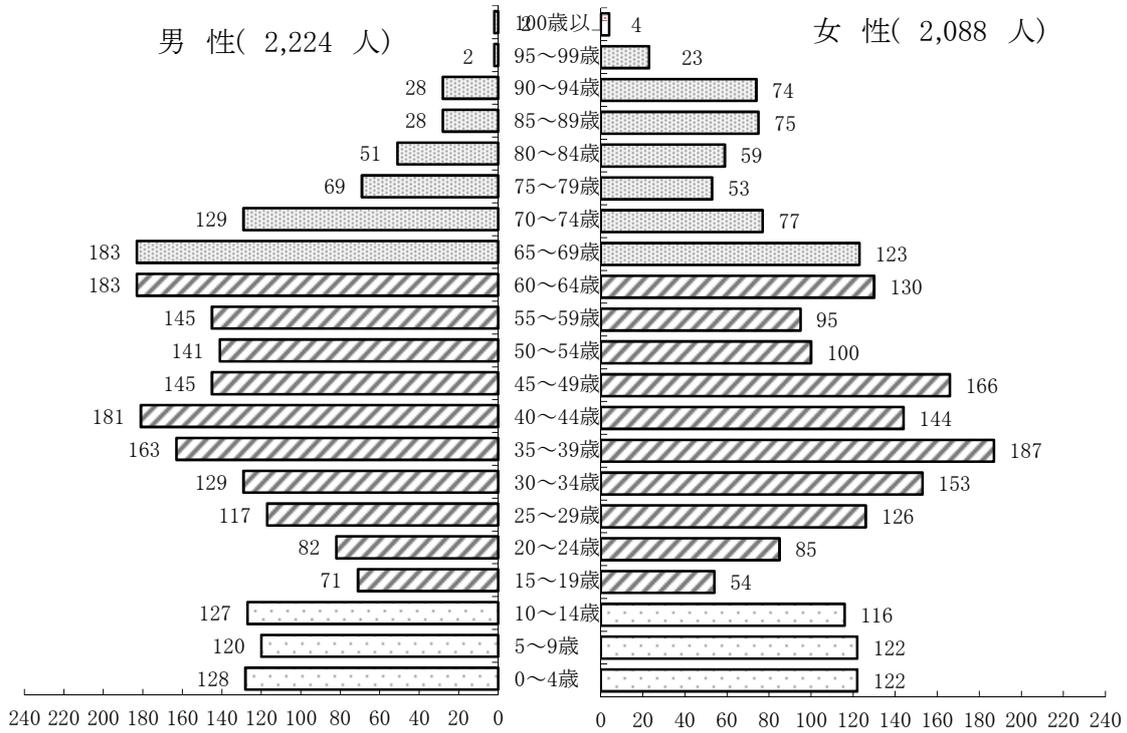


イ 石垣市

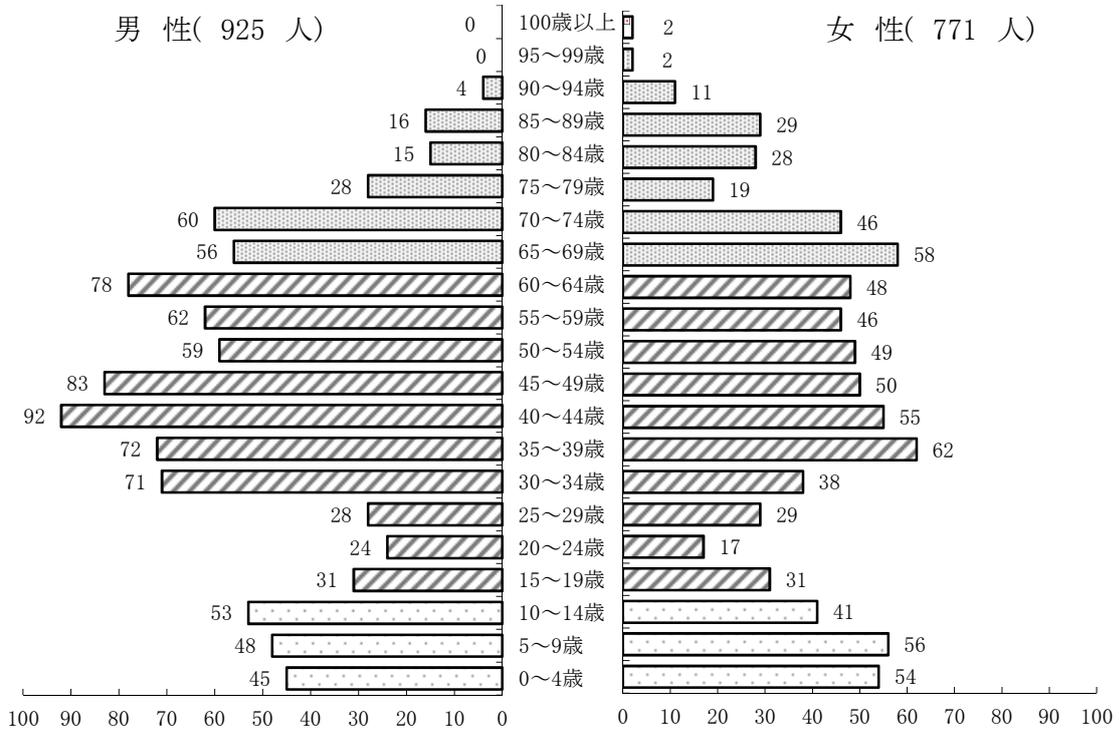


出典：管内人口は、各市町の住民基本台帳データより算出。

ウ 竹富町



エ 与那国町



出典：同左頁と同じ。

2 人口動態

(1) 人口動態統計とは

人口動態統計は、出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の「人口動態事象」について、その実態を明らかにするために、各届書によって作成された人口動態調査票をとりまとめたものである。

用語の解説

自 然 増 加	出生数から死亡数を減じたものをいう。
乳 児 死 亡	生後1年未満の死亡をいう。
新 生 児 死 亡	生後4週未満の死亡をいう。
早期新生児死亡	生後1週未満の死亡をいう。
死 産	妊娠満12週(妊娠第4月)以後の死児の出産をいい、死児とは、出産後において心臓はく動、随意筋の運動及び呼吸のいずれをも認めないものをいう。
自 然 死 産 と 人 工 死 産	人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに人工的処置(胎児又は附属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用)を加えたことにより、死産に至った場合をいい、それ以外はすべて自然死産とする。 1) 胎児を出生させることを目的とした場合。 2) 母体内の胎児が生死不明か、又は死亡している場合。
周 産 期 死 亡	妊娠満22週以後の死産と早期新生児死亡をあわせたものをいう。

比率の解説

$$\textcircled{1} \quad \text{出生・死亡・婚姻・離婚率} = \frac{\text{年間事件数}}{\text{10月1日現在日本人口}} \times 1,000$$

$$\textcircled{2} \quad \text{自然増加率} = \frac{\text{年間出生数} - \text{年間死亡数}}{\text{10月1日現在日本人口}} \times 1,000$$

$$\textcircled{3} \quad \text{乳児死亡・新生児死亡・週産期死亡・早期新生児死亡率} = \frac{\text{年間事件数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\textcircled{4} \quad \text{死 産 率} = \frac{\text{年間死産数(自然・人工・不明)}}{\text{年間出産数(出産+死産)}} \times 1,000$$

$$\textcircled{5} \quad \text{低体重児率} = \frac{\text{年間低体重児数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$$

(2) 人口動態総覧

令和2年

	八重山管内			石垣市			竹富町			与那国町			沖縄県		全国					
	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率	実数	率	実数	率				
出生	272	276	548	10.0	237	243	480	9.8	30	23	53	12.3	5	10	15	8.8	14,943	10.2	840,835	6.8
再掲	-	-	54	98.5	19	27	46	95.8	6	2	8	150.9	0	0	0	0.0	1,628	108.9	77,539	9.2
死亡	272	211	483	8.8	228	189	417	8.5	27	20	47	10.9	17	2	19	11.2	12,390	8.5	1,372,755	11.1
再掲	1	1	2	4.1	0	1	1	2.4	1	0	1	21.3	0	0	0	0.0	39	3.1	1,512	1.1
再掲	-	-	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	19	1.5	704	0.5
死産	-	-	9	16.2	-	-	8	16.4	-	-	0	0.0	-	-	1	62.5	323	21.2	17,278	20.1
再掲	-	-	4	7.2	-	-	4	8.2	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	153	10.0	8,188	9.5
再掲	-	-	5	9.0	-	-	4	8.2	-	-	0	0.0	-	-	1	62.5	170	11.1	9,090	10.6
周産期死亡	-	-	2	3.6	-	-	1	2.1	-	-	1	18.9	-	-	0	0.0	52	3.5	2,664	3.2
再掲	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	35	2.3	2,112	2.5
再掲	-	-	2	3.6	-	-	1	2.1	-	-	1	18.9	-	-	0	0.0	17	1.1	552	0.7
婚姻	-	-	318	5.8	-	-	277	5.7	-	-	30	7.0	-	-	11	6.5	7,376	5.1	525,507	4.3
離婚	-	-	138	2.5	-	-	128	2.6	-	-	7	1.6	-	-	3	1.8	3,410	2.3	193,253	1.6

出典：率計算に用いた全国の人口、「人口推計(令和2年10月1日)」(総務省統計局)より。

全国及び沖縄の人口動態総覧実数、「令和2年(2020)人口動態統計(確定数)概況」(厚生労働省HP)より。

管内の出生(低体重児)、死亡(新生児死亡)は、「調査票情報(人口動態統計)」(厚生労働省)より算出。

管内人口、「住民基本台帳」(各市町)より。

※率は全て千分率(‰)である。

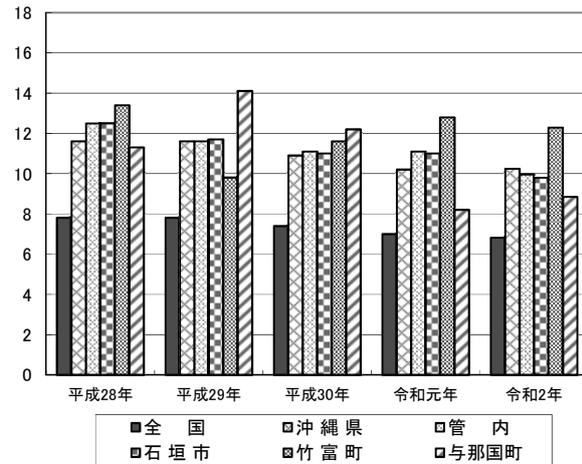
(3) 出生率の年次推移

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全 国	7.8	7.8	7.4	7.0	6.8
沖 縄 県	11.6	11.6	10.9	10.2	10.2
管 内	12.5	11.6	11.1	11.1	10.0
石 垣 市	12.5	11.7	11.0	11.0	9.8
竹 富 町	13.4	9.8	11.6	12.8	12.3
与那国町	11.3	14.1	12.2	8.2	8.8

※率は全て千分率(‰)。

出生率=年間出生数/10月1日現在日本人口×1,000

出生率の年次推移



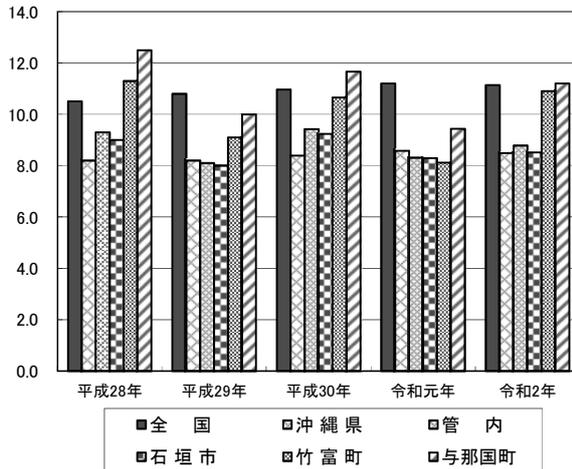
(4) 死亡率の年次推移

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全 国	10.5	10.8	11.0	11.2	11.1
沖 縄 県	8.2	8.2	8.4	8.6	8.5
管 内	9.3	8.1	9.4	8.3	8.8
石 垣 市	9.0	8.0	9.2	8.3	8.5
竹 富 町	11.3	9.1	10.7	8.1	10.9
与那国町	12.5	10.0	11.7	9.4	11.2

※率は全て千分率(‰)。

死亡率=年間死亡数/10月1日現在日本人口×1,000

死亡率の年次推移



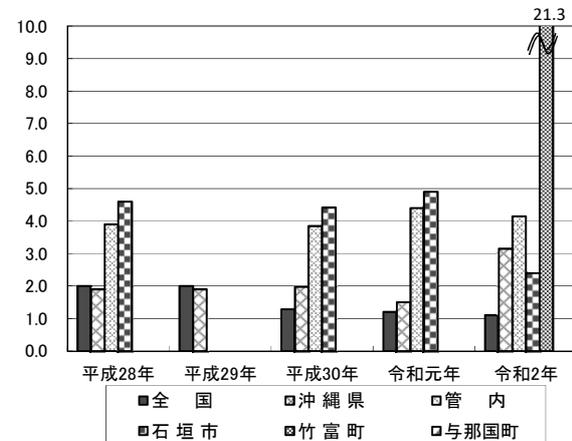
(5) 乳児死亡率の年次推移

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全 国	2.0	2.0	1.3	1.2	1.1
沖 縄 県	1.9	1.9	2.0	1.5	3.1
管 内	3.9	0.0	3.8	4.4	4.1
石 垣 市	4.6	0.0	4.4	4.9	2.4
竹 富 町	0.0	0.0	0.0	0.0	21.3
与那国町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※率は全て千分率(‰)。

乳児死亡率=年間乳児死亡数/年間出生数×1,000

乳児死亡率の年次推移



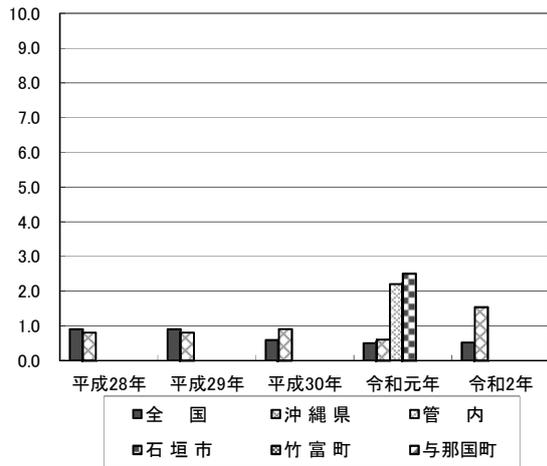
(6) 新生児死亡率の年次推移

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全 国	0.9	0.9	0.6	0.5	0.5
沖 縄 県	0.8	0.8	0.9	0.6	1.5
管 内	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0
石 垣 市	0.0	0.0	0.0	2.5	0.0
竹 富 町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
与那国町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※率は全て千分率(‰)。

新生児死亡率=年間新生児死亡数/年間出生数×1,000

新生児死亡率の年次推移



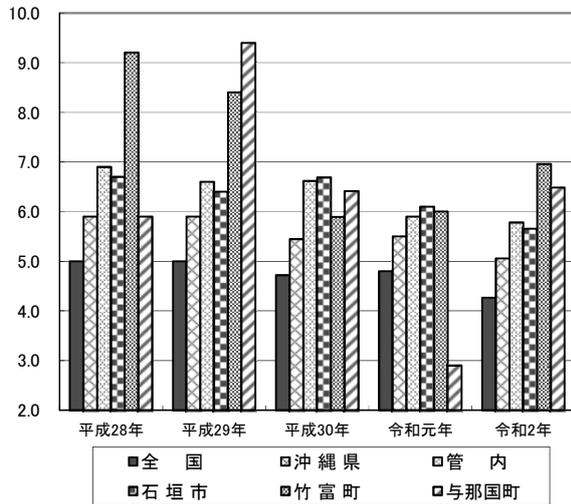
(7) 婚姻率の年次推移

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全 国	5.0	5.0	4.7	4.8	4.3
沖 縄 県	5.9	5.9	5.4	5.5	5.1
管 内	6.9	6.6	6.6	5.9	5.8
石 垣 市	6.7	6.4	6.7	6.1	5.7
竹 富 町	9.2	8.4	5.9	6.0	7.0
与那国町	5.9	9.4	6.4	2.9	6.5

※率は全て千分率(‰)。

婚姻率=年間婚姻届出件数/10月1日現在人口×1,000

婚姻率の年次推移



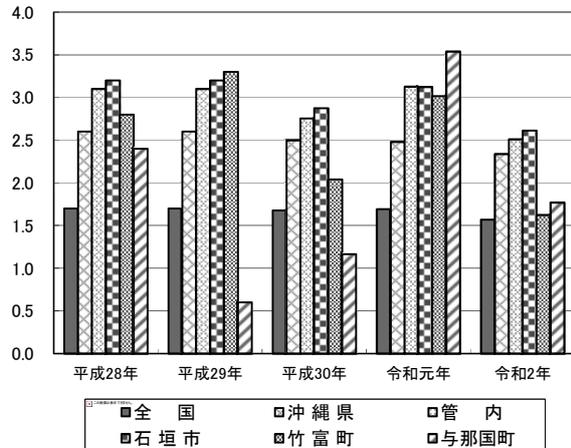
(8) 離婚率の年次推移

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
全 国	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6
沖 縄 県	2.6	2.6	2.5	2.5	2.3
管 内	3.1	3.1	2.8	3.1	2.5
石 垣 市	3.2	3.2	2.9	3.1	2.6
竹 富 町	2.8	3.3	2.0	3.0	1.6
与那国町	2.4	0.6	1.2	3.5	1.8

※率は全て千分率(‰)。

離婚率=年間離婚届出件数/10月1日現在人口×1,000

離婚率の年次推移



3 死亡統計

(1) 管内の死因順位

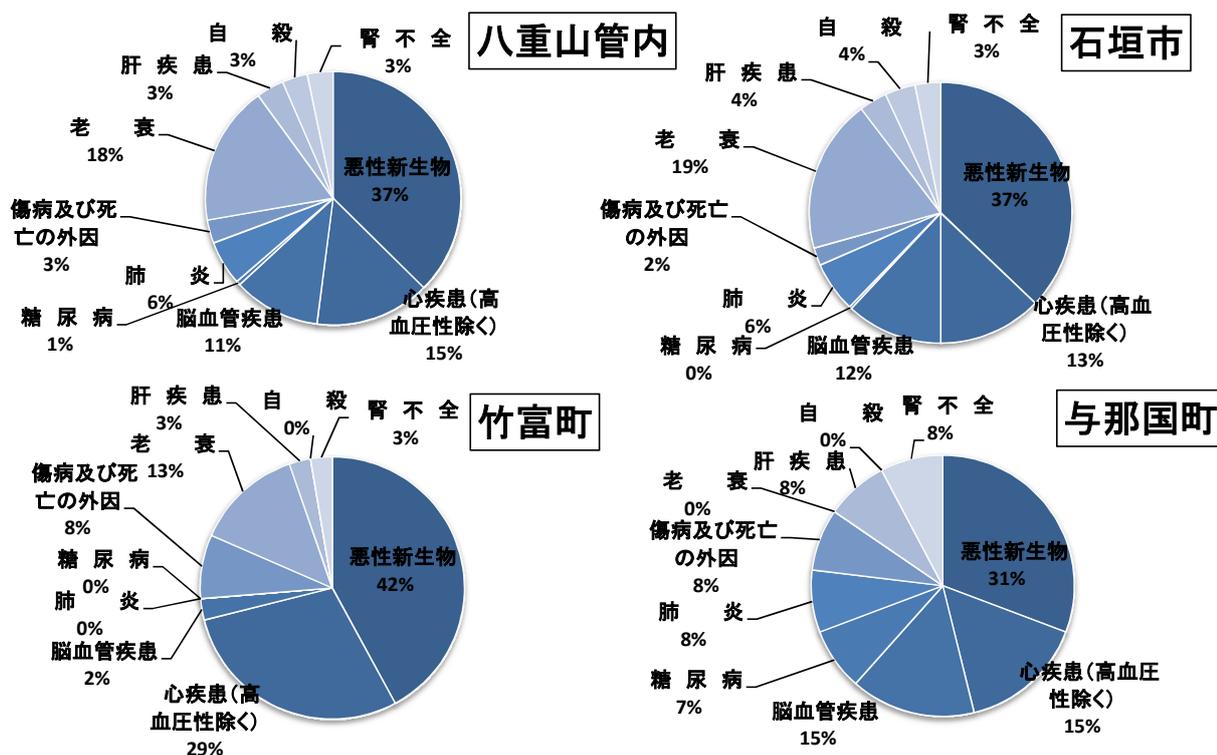
	1 位			2 位			3 位		
	死因	実数	率	死因	実数	率	死因	実数	率
令和2年	悪性新生物	139	28.8	老衰	66	13.7	心疾患	54	11.2
令和元年	悪性新生物	117	25.6	心疾患	52	11.4	老衰	40	8.8
平成30年	悪性新生物	136	26.2	心疾患	70	13.5	老衰	65	12.5
平成29年	悪性新生物	103	23.1	老衰	53	11.9	脳血管疾患	51	11.5
平成28年	悪性新生物	144	32.4	心疾患	59	13.3	脳血管疾患	58	13.0

※死因分類表中分類項目を表記

出典：「令和2年人口動態調査保管統計表」(政府統計の総合窓口(e-Stat))より作成編集。

(2) 令和2年市町村別主な死因

	八重山管内			石垣市			竹富町			与那国町		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
悪性新生物	139	99	40	119	84	35	16	11	5	4	4	0
心疾患(高血圧性除く)	54	30	24	41	22	19	11	6	5	2	2	0
脳血管疾患	41	22	19	38	21	17	1	0	1	2	1	1
糖尿病	2	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0
肺炎	21	12	9	20	11	9	0	0	0	1	1	0
傷病及び死亡の外因	11	7	4	7	4	3	3	2	1	1	1	0
老衰	66	15	51	61	15	46	5	0	5	0	0	0
肝疾患	13	10	3	11	8	3	1	1	0	1	1	0
自殺	12	7	5	12	7	5	0	0	0	0	0	0
腎不全	12	4	8	10	4	6	1	0	1	1	0	1
計	371	208	163	320	177	143	38	20	18	13	11	2



出典：「令和2年人口動態調査保管統計表」(政府統計の総合窓口(e-Stat))より作成編集。

4 合計特殊出生率

(1) 合計特殊出生率とは

合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

(2) 算出方法

県の合計特殊出生率と同様に5歳ごとの年齢階級別に算出する。

$$\text{合計特殊出生率} = \left(\frac{\text{母が15歳～19歳の出生数}}{\text{15歳～19歳の女性人口}} + \dots + \frac{\text{母が45歳～49歳の出生数}}{\text{45歳～49歳の女性人口}} \right) \times 5$$

(3) 令和2年八重山管内の母の年齢階級別出生数及び女性の年齢階級別出生率

年齢階級	母の年齢階級別出生数				女性の年齢階級別出生率			
	管内	石垣市	竹富町	与那国町	管内	石垣市	竹富町	与那国町
15～19歳	2	2	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
20～24歳	52	51	1	0	0.05	0.06	0.01	0.00
25～29歳	123	110	9	4	0.09	0.09	0.07	0.14
30～34歳	177	150	21	6	0.11	0.10	0.14	0.16
35～39歳	159	137	18	4	0.08	0.08	0.10	0.06
40～44歳	33	28	4	1	0.02	0.02	0.03	0.02
45～49歳	2	2	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
総数	548	480	53	15	0.35	0.35	0.34	0.38

出典：母の年齢階級別出生数、「令和2年人口動態統計保管統計表」(政府統計の総合窓口(e-Stat))より
女性の年齢階級別出生率、「住民基本台帳データ(令和2年9月30日)」(各市町)より。

(4) 令和2年市町村別合計特殊出生率

	令和2年	平成25～29年	増減
八重山管内	1.74	2.07	△ 0.33
石垣市	1.74	2.14	△ 0.40
竹富町	1.72	1.63	0.09
与那国町	1.89	1.98	△ 0.09

出典：平成25～29年の数値、「平成25～29年人口動態保健所・市町村別統計の概況」(厚生労働省)より。

(参考)

	令和元年
沖縄県	1.82
全国	1.36

出典：「令和元年(2019)人口動態統計(確定数)の概況」(厚生労働省)より。